

—人事はヒトの心を扱う仕事—

経営心理学が 人事の悩みに 答えます！

一般社団法人日本経営心理士協会 代表理事 藤田 耕司

■人間の心の理解が不可欠

人事の諸問題は、何らかの形で人の動きを変えることが求められます。人を動かしているもの、それは「心」です。そのため、人事の諸問題を根本的に解決するためには人間の心の理解が不可欠となります。

これまで、700件以上の経営相談を受け、現場の泥臭い人事の悩みや諸問題に対して解決の支援をしてきたなかで、うまくいっている事例とうまくいっていない事例を心理学的の観点から分析してみると、一定の傾向が見えてきます。そういった傾向をまとめ、人間の心の仕組みを体系的に理解できる形にしたのが経営心理学です。

人材育成や人事評価をするにしても、人間の心の仕組みに基づいた内容になっているかどうかで、その効果は大きく異なります。経営心理学は現場の人間の動きを変え、そのための仕組みを創り、業績を上げることを目的とした心理学です。本稿では、これまで数々の人事の現場で効果をあげてきた課題解決法を6つのテーマに絞ってご紹介していきます。

目次

- 悩み その1** 離職率が高く、採用しても人がなかなか定着しません…
【4つの原因とその解決法】
- 悩み その2** 採用しようとして募集をかけてもなかなか応募が来ません…
【5つの原因とその解決法】
- 悩み その3** 社員のモチベーションを上げるため給料を上げましたが、あまり変化が見られず、どのようにしてモチベーションを上げればよいのかが分かりません…
【3つの原因とその解決法】
- 悩み その4** 仕事で実績ナンバーワンの社員をマネージャーに昇進させましたが、その部署の業績は一向に上がりません…
【2つの原因とその解決法】
- 悩み その5** 社員には指示待ち人間が多く、自分の頭で考えて意見を言ったり、行動したりする自発性を感じられません…
【6つの原因とその解決法】
- 悩み その6** 経営理念がなかなか浸透せず、形骸化している状態です…
【5つの原因とその解決法】



■藤田 耕司 (ふじた こうじ)

経営コンサルタント、公認会計士、税理士、心理カウンセラー、一般社団法人日本経営心理士協会 代表理事。様々な組織の事例を心理学的に分析し、「人の性質」に基づいて人材育成や組織運営の問題解決を行う。また、上場企業から中小企業まで幅広い会社において企業研修を行っている。著書に『リーダーのための経営心理学』（日本経済新聞出版社）、『もめないための相続心理学』（中央経済社）がある。モットー「五方よし：売り手よし、買い手よし、世間よし、先人・先祖に感謝し、未来よし」

<http://keiei-shinri.or.jp>